

第13 口永良部島新岳噴火について

1 爆発的噴火の状況

- ・ 5月29日(金)09時59分に爆発的噴火(噴煙が火口上9千メートル以上)
- ・ 同日10時07分に気象庁が噴火警戒レベル3(入山規制)から5(避難)へ
- ・ 町営フェリー・海保ヘリや漁船により屋久島へ避難(在島者(137名)全員が避難)

2 被害状況

人的被害	2名(軽傷(火傷, 体調不良))
住家・非住家の被害	不明(現状では, 確認されていない)

3 避難の状況

- ・ 噴火時の在島者137名全員が島外に避難したことを確認
※ 在島者137名の内訳: 島民118名, 旅行者等19名
- ・ 屋久島町が準備した3つの避難所, 親戚・知人宅等に避難

4 口永良部島への帰島の経緯

7月 7日: 台風対策のため島民が緊急入島
8月 1日: 仮設住宅への入居を開始
8月15日: 島民の車の島外搬出を開始
9月 5日: 子供達が身の回り品持ち出しのため入島, 子牛の島外搬出
9月25日: 屋久島町が島民の帰島に向けた「噴火災害復興対策本部」を設置
10月21日: 気象庁が火山噴火予知連絡会の評価見直しを受け, 警戒範囲を設定
10月27日: 島民が自宅家屋確認のため入島
11月10日: 自宅清掃のため島民の入島を開始
11月16日: 口永良部島内に「現地対策班」を設置(常駐)
12月 1日: 屋久島町長が口永良部島を視察
12月 8日: 島民の泊まりがけによる入島を開始
12月25日: 屋久島町長が一部地域を除き避難指示を解除。住民の帰島開始